

「英姿颯爽」

第12号

10月7日 発行

第5回 9月ATを終えて

9月6日（火）～9日（金）の4日間に渡り第5回の9月ATが実施されました。今回のATは前期の期末考査的な位置付けで前期の中で最も重要なATでした。今回のATおよび、前期評点に関して各教科・科目の分析やアドバイスを参考にし、今後に活かしましょう！

《 国語 》

◎現代文

現代文で高得点を出すための秘訣は、まず初見の素材文に対してワクワク感を抱けるか、設問を出題者からの挑戦状と見立てて、「よーし、解いてやるぞ！」と意欲的になれるか、です。決して易しい素材文ではありませんが、筆者が現代社会に対して問題意識を持って君たちに問いかけているわけですから、私たちの日常生活とも何らかの関係があるはずですよ。それを考えながら解いて欲しいと思います。また、今回は記述問題ばかりでしたが、「どういうこと」という問いは「易しく言い換える」、「なぜ」という問いは「原因を答える」ということを強く意識してください。採点基準を丁寧に示しました。なぜそのような解答になるのか、それをしっかりと見直してみてください。最後に、漢字は努力のバロメータですが、正答率が下がってきています。自分自身のATへの取り組みを見直す時期かもしれません。

◎古 典

問題内容の60%は教科書から、40%は夏休み課題から出題しました。授業で既習の内容や課題とほぼ同じ問題であれば、七割以上は正解してほしいものです。しかし、平均点は四割を下回る結果でした（七割を超えた者は10名、最高点は86点）。問題数が多かったとはいえ、もっと丁寧な学習努力を期待します。一年次に扱う古文文法や漢文句法が全ての土台になります。時間と労力をかけ、一所懸命やりましょう。授業中に完全理解を目指しましょう。予習・授業・復習・課題のサイクルを立て直し、10月ATは七割以上の正解をめざしてください。

《 数学 》

◎数学I 範囲は命題と論証・2次関数の最大値と最小値でした。学年平均点は53.0点でした。内容については、No.2の2次関数の場合分けの問題がどの程度解答できたかがPointです。いろんなグラフをかいて、正しい場合分けを自分で判断し、解答として表現できるようにしておきましょう。2次関数は数学の学習の中で、様々な場面で登場します。2次関数の理解が必ず他分野で活躍するようになります。わからないところや気になる部分はどんどん質問をして、もしくは友達と相談して、理解を深めてほしいと想います。

◎数学A 範囲は確率と平面図形でした。No.1の平面図形の角度や辺の長さの求値問題の出来は非常に良かったです。ただ、No.2になり、チェバ・メネラウスの定理問題になると解法が怪しくなっています。有名な定理なのできちんと覚えて確実に得点したいものです。また、反復試行の確率が思いの外、出来が悪かったです。ここも重要箇所ですので復習しておきましょう！

前期の成績は、総合的に判断して算出しています。日頃から興味・関心を持ち、意欲的に授業に臨みましょう。AT後は、「整数」分野に入ります。難解な問題が登場するので先生方に質問に行きましょう!!!

《 英語 》

◎英語表現 I

今回は、4月からのATの中で一番平均点が高く、標準クラスは 56.4点、難関クラスは、59.2点でした。考えられる理由として、出題者が内容を基礎・基本的なものに絞り、かつ全体的な量を減らしたこともあるでしょう。ただ、生徒の皆さんが少しずつ努力を積み重ねていることも十分にあります。

一年次における文法の理解・定着は、3年次に形となって現れます。逆に、文法の力が弱い人は大変苦勞をすることになりますので、文法書『Best Avenue』には毎日目を通すようにして下さい。

最後に今回一つ評価したい点は、「50語程度、英語で意見を書く英作文」において、皆段々と力をつけているのが見えた点です。国公立大学の英語の二次試験においても、英語のエッセイを課す大学が多いです。皆さんの頑張りを、今後も期待します。

◎コミュニケーション英語 I

今回は Lesson 3 の内容理解と、それに伴う問題となった。それに加えて、クエストも追加したので、全体として長文の重みがぐっと増えた内容であった。全体的によくできていたが、やはり単語の部分がどうしても点数が出ていなかった。キクタンの徹底を一人一人がするとともに、新しいスタイルでのキクタンテストに対応できる「耳」をしっかりと鍛えてほしい。

《 理科 》

◎生物基礎

今回は範囲が広がったため、浅く・広く出題しました。そのため、出題した問題は必ず覚えていないといけない基本問題がほとんどです。問題用紙を誤答ノートに貼り、しばらくして再び解いてみる。これを繰り返し、同じ問題は間違えない勉強を積み重ねましょう。また、あいまいな知識のまま先に進むと、本番で必ずケアレスミスをします。今回の反省点を次回に生かしましょう。

◎物理基礎

今回は、夏休み課題のみから出題しました。範囲が広がったとはいえ、学年平均点は 50 点弱と少し物足りない結果となりました。夏休みまでに学習した内容は、これからの学習内容の基盤となっていく部分です。しっかりと復習をしていく中で、問題文や図から必要な情報を取り出し、取り出した情報をもとに公式を利用して問題を解いていくといった作業ができるようになることが大きな目標です。物理はまだ始まったばかりです！身のまわりで起こっている現象に興味を持ち、理解を深めていきましょう。

《 地歴 》

◎ 世界史A

今回の平均点は 71.7 点。範囲がせまいため、事前に十分時間をかけて勉強してきた生徒は高得点がとれたようです。特に授業中のポイントをノートに書きとめ、それを入念に学習していた生徒は簡潔な記述問題も正解できています。試験が範囲が広がっても同じです。事前の学習をいかに計画的におこなうか、授業でのポイントをしっかりとチェックできているかが重要です。

◎ 日本史A

今回のAT範囲が狭かったため、比較的学習しやすかったのではないのでしょうか？皆さんの出来に関しては満足しています！ 今回の明治維新は現代の日本を語る上で、大きな意義を持っています。なぜ、開国したのか、なぜ、欧米文化を受け入れたのか、当時の人々の考えを巨視的な視点から考えてみてください。

◎ 地理A

今回の平均点は 66.2 点。資料活用の技能に関する問いは 73.1%，知識・理解に関する問いは 69.3%という比較的高い正答率に対して、思考・判断・表現に関する問いが 39.2%と低い正答率でした。自分の言葉で表現する学習活動が重視されており、基本的な事柄を「丸暗記」ではなく「理解すること＝関連づけて整理する」ことが大切です。次回に向けた頑張りに期待しています。

《 保健体育 》

◎ 体育

体育大会の集団演技と水泳を主に評価しました。集団演技は体育大会での成功を見てわかるようにだいたいよくできていました。水泳については、得意不得意がはっきりした種目ですが特に苦手な生徒がよく努力をしていました。ほとんどの生徒が1度は25m泳ぐことができました。今年は9月の3週まで授業をしました。見学者の補講が間に合わない者についてはレポートの提出によって補填しました。

◎ 保健

学年平均点は問題作成時に予想した得点を下回っていました。語群問題を入れるなど比較的簡単であったにもかかわらず得点が出来ていないのは明らかに試験勉強の不足が原因と思われます。また、ノートの提出においては「提出期限を守らない」「内容が不十分」「無記名」の者が数名いたことも平均点が下回った原因かもしれません。ATにおける保健の試験は年間に2回実施します。次のAT（2月）が1年生最後の試験になりますので、しっかり準備して高得点を狙って下さい。

《 家庭 》

◎ 高齢者の分野での出題でした。ATについては、ケアレスミスが多くて残念でした。問題を確り読んで答えましょう。1点を大切に！評価については、ホームプロジェクトなどの課題や授業プリントなどの提出状況も加味しました。期日を守る、説明通りに記入するなど内容と共にルールも大切です。後期も頑張りましょう！

《 情報 》

◎ 情報モラルや情報メディアからの出題でしたが、初めてのATということもあり、平均点はやや高めでした。基本的な問題は比較的できていましたが、語句を説明するなど、文章できちんと表現する問題ができていませんでした。後期はさらに専門的な知識の習得に入っていきますので、今以上に授業を大切に頑張りましょう。

《今後の行事予定》

10月8日（土）	オープンキャンパス
10月9日（日）	英検（一次）
10月11日（火）	繰替休業
10月12日（水）	後期開始日
10月13日（木）	1学年保護者会
10月15日（土）	土曜講座
10月20日（木）・21日（金）	10月AT
10月29日（土）	進研模試



鍛錬遠足